

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）

祈禱会の時間です！

【テーマ】「ソロモンの箴言 II」-①王座において

今朝から箴言の 5 つ目の詩集(27:1-29:27)を読み始めます。5 つ目の詩集は多数の大きなテーマを取り扱っています。今朝はその中の一つテーマ「神と王の王座において」のイントロダクションを学びます。

【聖書のみ言葉】 箴言 25:1-5 を読みましょう。

【解説】

神は、人が測り知ることのできない御業をなすことによって誉れを得ます。人は、神による測り知ることのできない御業を調べることによって誉れを得ます(2)。神の御業がどれだけ測り知れないかは、人が、神の創造された天がどれだけ広く、地がどれだけ深いかを調べることができないことに表されています。神が立てた王の心は測り知れませんが、その王も探ることしかできない神の御業はもっと測り知れないのです(3)。

王は、時として、不純なものを取り除かなければならないこともあります。ちょうど、細工人が良い器を作るために、銀から金かすを取り除かなければならないように(4)、王は、時として、王座を義によって堅く据え、人々が正義と平和のうちに生活できるようにするために、悪しき者や腐敗を取り除いて、貧しい者や必要にある者を助ける者で置きかえなければなりません(5)。これもまた神の測り知れない御業なのです(マタイ 13:41-43)。

【適用】

今、何か、神があなたには理解できない御業を成しておられるでしょうか？神のみ旨は広く、深く、私たちには測り知ることができません。私たちは、神の御業を自分の基準によって軽々しく考えてはいけません。もし、指導的な立場にあるならば、神のみ前に身を低くして、人々と共に歩みましょう。もし、指導的な立場にある者と共に人々のために仕える者ならば、神のみ旨が分からない時でも、神のみ旨を探る指導者と共に、神のみ旨に委ねつつ歩みましょう。指導的な立場に立たされる時、時として、どんなに辛いことでも、神のみ旨という確信へと導かれ、人々のためにしなければならぬこともあるかもしれません。神は、イエスの十字架と復活にあつて、私たちには測り知れない御業をなされ、愛を表されました(ローマ 11:33-36)。だからこそ、どんな時でも、神の愛も信頼しながら、神のみ旨を調べつつ、共に歩いていきましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう。その他にも個人的な祈りの課題がありましたら、祈りましょう。

ありがとうございました！また次週の祈禱会に配信します！

百合丘キリスト教会

川井信雄

（「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他の方で、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にも CC して頂ければ感謝です。）